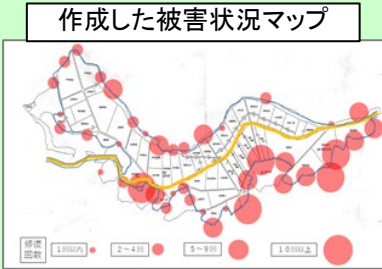


耕作者と普及指導員によるICT技術を活用した鳥獣害対策（奈良県五條市）

- 耕作者と普及指導員が協力し、集落ぐるみの鳥獣被害対策を実施
- 侵入防止柵の維持管理のため、集落一斉点検を実施。被害状況マップを作成し、その情報を共有
- 被害箇所では、センサーカメラにより侵入経路を特定し、柵の補修や箱わなの設置等を実施

取組内容

- 普及指導員が耕作者に対して、学習会や現地指導を行い、柿団地において集落ぐるみの鳥獣害対策を実施
- 柿団地に整備した侵入防止柵の維持管理のため、集落一斉点検を行い、被害状況マップを作成して情報を共有



- 被害箇所には、センサーカメラを設置して、侵入経路を特定し、柵の補修や周辺の除草活動を実施
- 特定された侵入経路を中心に、柵の周辺に箱わなを設置

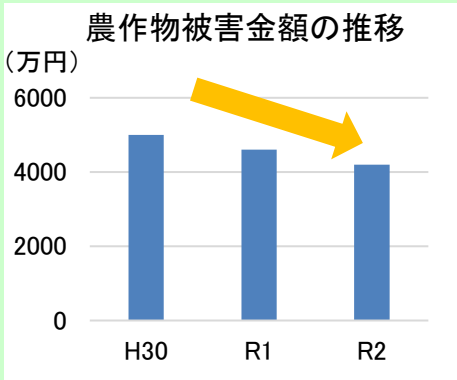


成果

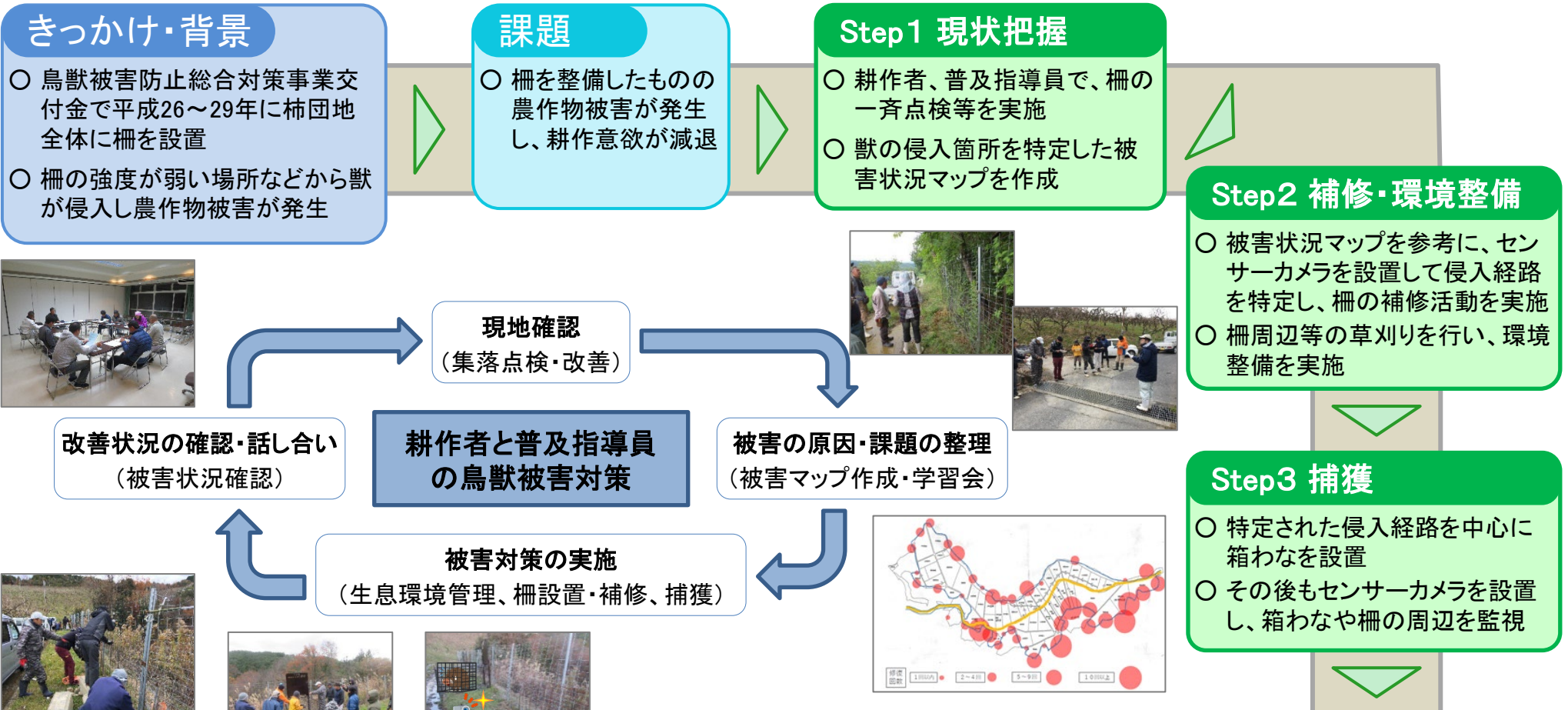
- 地域ぐるみの取組により、地域全体の鳥獣被害防止の意識が高揚



- 農作物の被害面積が約2割減少



耕作者と普及指導員によるICT技術を活用した鳥獣害対策(奈良県五條市)



取組の特色

- 耕作者と普及指導員が連携し、集落ぐるみで鳥獣被害対策を実施
- センサーカメラを使用することで、鳥獣被害を動画で確認でき、侵入経路の特定が容易になり、耕作者の鳥獣被害防止の意識啓発を促進

取組による成果・効果

- 対策前と比較して農作物被害が約2割減少
- 耕作者が主体となった地域ぐるみの取組により、地域全体の鳥獣被害防止の意識が高揚。その結果、わなの見回りなどをサポートする捕獲サポート隊の設置を促進
- 被害状況マップやセンサーカメラを活用し、鳥獣被害を見える化することで、柵の補修、環境整備等の大切さを認識

農作物被害金額の推移

年度	被害金額 (万円)
H30	5000
R1	4500
R2	4200